

## メダカのすみやすいところって？

益城町立飯野小学校 5年生全員

### 1 研究の目的

絶滅危惧種に指定されているメダカだが、飯野校区にはまだ、たくさんのメダカがすんでいる。メダカのことを詳しく調べ、なぜ校区にたくさんいるのか考えたいと思い、研究に取り組んだ。

### 2 研究の方法

- (1) メダカの生態について調べる。
- (2) 野生のメダカを観察してメダカがどんなところにいるか調べる。
- (3) 田んぼの水の変化とメダカの様子を調べる（田んぼの水が抜かれた後の様子）。

### 3 研究の結果

- (1) メダカの生態を調べる。

- ア メダカは暗い方に集まる。懐中電灯の強い光を当てると、深いところに移動する。  
 イ 人が来ると、すばやく水草の陰に隠れる。離れていると、出てくる。  
 ウ 周りの色によって体の色を変える。黒い水槽に入れたものは、背中が黒っぽく変化した。  
 エ 流れの方に頭を向けて泳ぐ。大きなメダカは流れに強いが、小さいものは流された。

- (2) 野生のメダカの観察

…用水路A～Dの4地点を設定して調べた。

9月23日（晴れ）29℃

	A地点	B地点	C地点	D地点
メダカの様子	・20匹ぐらいいた。 ・小さなメダカもいた。	・メダカはいない。	・40匹ぐらいの群れ。 ・小さなメダカはいない。	・500匹ぐらいの群れ。 ・小さなメダカもいた。
①水の流れ	・5mを平均40秒 ・水の流れはゆっくり。	・5mを平均13秒 ・水の流れは速い。	・5mを平均23秒 ・水の流れがある。	・5mを平均56秒 ・とても流れが遅い。
②水路の様子	・川底はどろ。 ・側面はコケやタニシが付いていた。 ・水路周辺は草が生えている。	・川底は土が少ない。 ・底にも側面にも藻が付いている。 ・水路周辺はコンクリートや田んぼ。	・川底は土がたまっている。 ・側面はコケが生えていた。 ・周辺は草がいっぱい。	・川底はやわらかい土がたまっている（へドロ状）。 ・側面には藻がある。 ・周辺は草がいっぱい。
③他の生物	・エビが多い。・カエル ・オタマジャクシ ・カワニナ	・小さな虫が多かった。 ・エビ ・カエル ・ジャンボタニシ	・カエルやオタマジャクシが多かった。 ・ジャンボタニシ	・エビ、カエル、オタマジャクシが多かった。

- (3) 田んぼの水の変化とメダカの様子（田んぼの水が抜かれた後の様子）

9月27日（晴れ）28℃

A地点	B地点	C地点	D地点
・水が減っている。 ・メダカは数は少ないが見られた。	・水はなく、乾燥している。 ・メダカも、他の生き物もいない。	・水は低いところに少したまっている。 ・メダカが集まっている。	・水は水深2～4cmほどで、流れていない。 ・メダカはまだ泳げる。

### 4 研究のまとめ

- (1) メダカは、暗いところが好きで、強い光は苦手と考えられる。
- (2) メダカはとてもすばやくて、すぐに物かげに隠れてしまう。メダカは動くものに反応し、すばやく隠れることで、身を守っていると思う。
- (3) 体の色が黒っぽく変化した。天敵から身を守るため、見つかりにくくしていると思う。
- (4) メダカは流れに弱く、小さいものは流された。用水路でも、流れの速いところには小さいメダカはすめないことがわかった。
- (5) 田んぼや用水路に様々な生き物がいた。天敵が少ないので、メダカが増えたのではないか。
- (6) 田んぼの水が稲刈りのために抜かれた。取り残された生き物はどうなるのだろうか。
- (7) 田んぼでの農作業との関係とメダカの数の変化についても、今後調べてみたい。